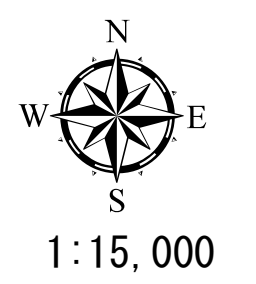
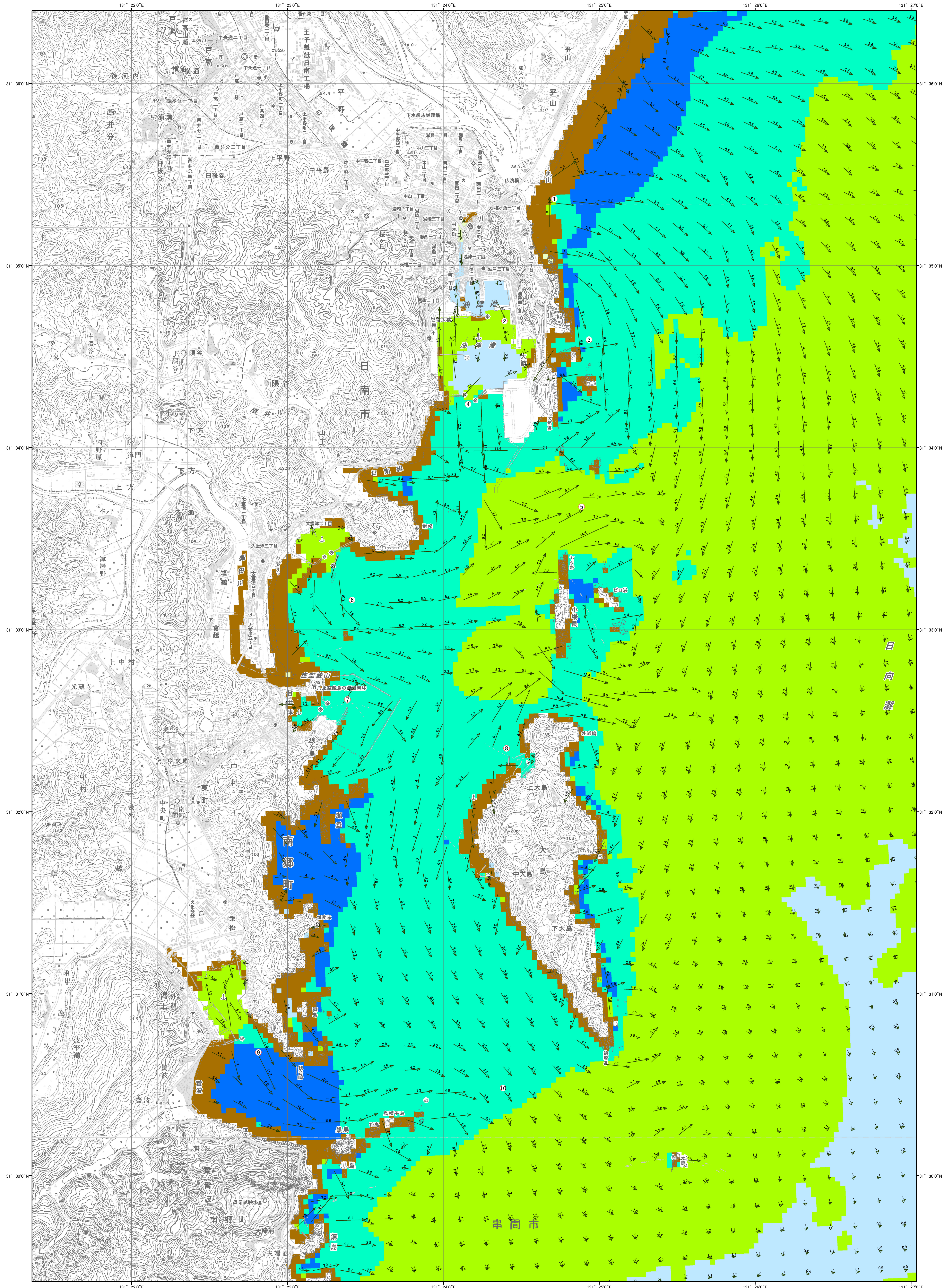


# 油津港 津波防災情報図(引潮図)

計算条件：最低水面(零位)  
 隆起量：平均 -41cm(-51cm ~ -33cm)  
 Zo：1.16m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



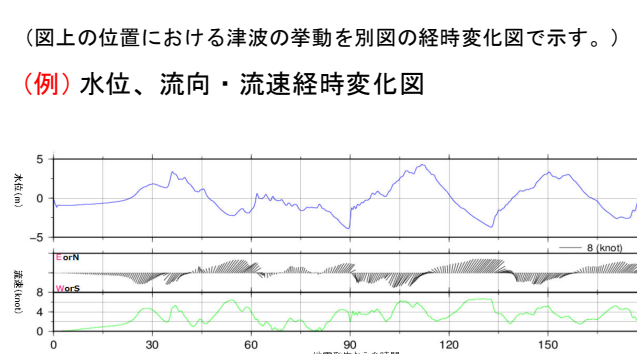
座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

## 凡例

最大水位低下

- 5~最大7.4m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 露出域

経時変化出力点

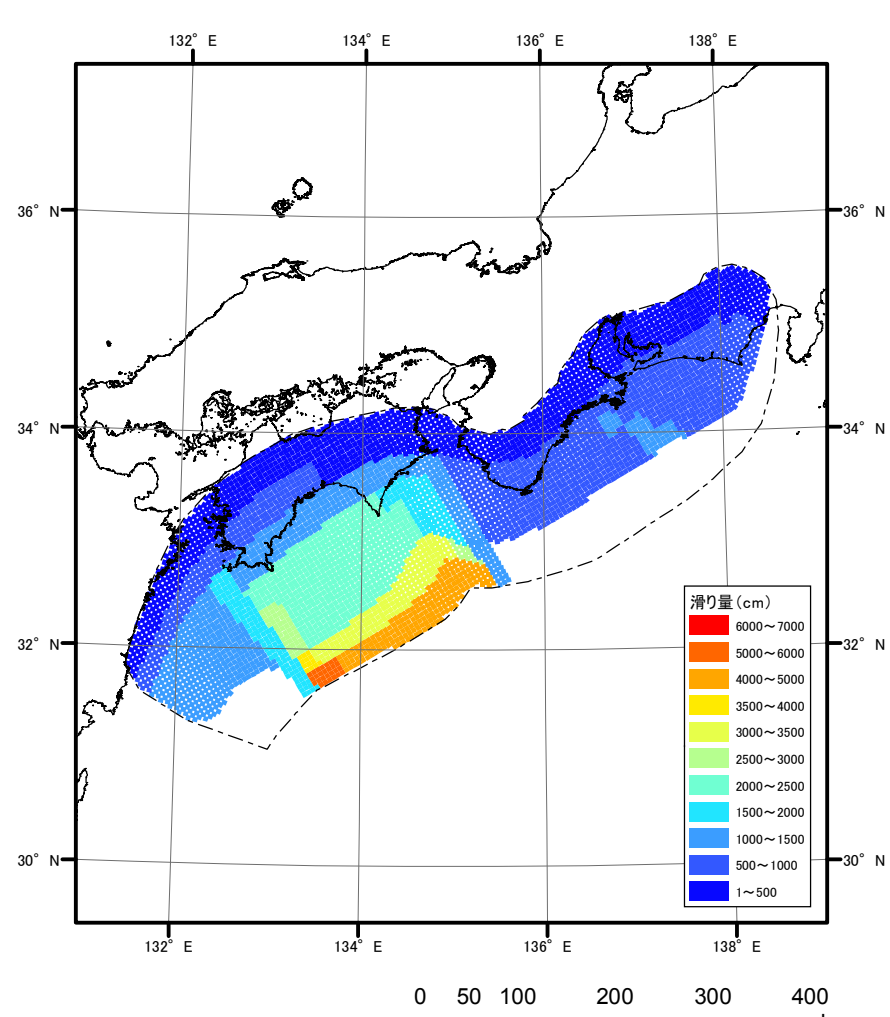


引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



ケース④「四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断面面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 X 10 <sup>17</sup>
平均すべり量 D (m)	10.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」(平成24年8月29日発表)により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)及び数値地図25000(地図画像)  
 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 第911号 平成25年3月29日)  
 ・海岸における30電子地図(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 国地応地第98号 平成24年3月21日)

